

I 調査結果の概要

1. まちづくりの現状評価

- 「こころとからだの健康づくりの推進」の評価が最も高く、新規項目「総合的な人口減少対策」の評価が最も低い
- 「こころとからだの健康づくりの推進」の評価が高い傾向は過去2回の調査と同様
- 前回調査から「上下水道の整備」は低く、「地域・家庭教育の充実」「情報化の推進」は高くなっている
- 加重平均値は、新規項目を除く31項目中16項目の評価が前回より向上する一方、上位6項目はいずれも低下
- 政策分野別の評価は、過去2回の調査と同様に、最も高いのは「保健・医療・福祉」、最も低いのは「産業振興」

2. 今後特に力を入れて取り組むべきこと

- 新規項目「総合的な人口減少対策」の要望が最も高い
- 「高齢者福祉・介護」「ひとにやさしいまちづくり」の要望も高く、「ひとにやさしいまちづくり」は前回調査より高い
- 30歳代は「子育て環境の充実」が特に高い
- 政策分野別の要望は、前回調査と同様に、最も高いのは「保健・医療・福祉」、次いで「都市基盤」「産業振興」

3. 市民サービスの評価

- 「窓口や電話での対応などが適切で親切」の評価が最も高く、「市民の意見や考えが伝わりやすい」の評価が最も低い
- すべての項目の評価が高くなる傾向。その中でも「市役所本庁舎の窓口は利用しやすい」の評価が最も向上

4. 市政への関心

- 「関心がある」が7割以上で高いが、関心度は低下する傾向
- 20歳代の関心度が低い

5. 市政情報の入手方法

- 過去3回の調査と同様に、全体では「市報みなみ魚沼」が約9割で特に高いが、その中で20歳代は低い
- 「市公式ウェブサイト」が若干増加傾向
- 50歳代以下や常勤は「市公式ウェブサイト」、60歳以上は「新聞」が比較的高い

6. 「市報みなみ魚沼」を読んでいるか・評価【新規設問】

- 過去3回の調査と同様に、全体では「読んでいる」が9割以上で特に高いが、その中で20歳代は低い
- 新規設問の「市報みなみ魚沼」の評価について
 - (1) 読みやすさは「読みやすい」が5割以上、「どちらともいえない」が約4割
 - (2) 必要な情報を得ることは「できる」が約6割、「どちらともいえない」が約4割
 - (3) 情報量は「ちょうどよい」が約8割、「多い」「少ない」がいずれも約1割
 - (4) 月2回の発行回数は「ちょうどよい」が8割以上、「多い」が1割以上
 - (5) 総合的な満足度は「やや満足している」が約6割、「どちらともいえない」が2割以上

7. 地域づくり協議会の認知度

- 「知っている」が約4割、「知らない」が約6割で、認知度は高くなる傾向
- 農林水産業が高い一方、20歳代、居住年数3年未満などが低い

8. 地域づくり活動への関心度【新規設問】

- 「関心がある」が約7割
- 「関心がある」は男性、高い年代、居住年数3年未満、夫婦2人のみや三世同居、農林水産業や商工業などが高い一方、20歳代が低い

9. 南魚沼市に住むようになった理由・きっかけ

- 前回調査と同様に「親の代（またはそれ以前）から住んでいる」が約7割
- 居住年数3年未満は「仕事・通学の都合」、3～20年未満は「結婚・独立」、20年以上は「親の代（またはそれ以前）から住んでいる」が最も高い
- 「結婚・独立」は女性や家事専業も高い

10. 南魚沼市は暮らしやすいか

- 「暮らしやすい」が約6割、「暮らしにくい」が約2割
- 居住年数3年未満は「どちらかといえば暮らしにくい」が約4割で最も高い

11. 暮らしにくさや不安

- 「医療・介護」が2割以上、次いで「少子高齢化」「雇用・収入」がそれぞれ1割以上
- 前回調査より「医療・介護」は若干高く、「雇用・収入」は若干低い
- 若い年代、居住年数5年未満や10～20年未満、非常勤は「雇用・収入」が最も高い
- 大和地域、農林水産業は「少子高齢化」が最も高い

12. 働く環境としての魅力

- 「魅力を感じない」が4割以上、「魅力を感じる」が1割以上
- 「魅力を感じない」は前回調査より若干低下
- 「魅力を感じる」理由は、「やりたい仕事や職種がある」「仕事と子育ての両立がしやすい」がそれぞれ2割以上、次いで「雇用の場が多い」が1割以上
- 「魅力を感じない」理由は、「給与水準が低い」が3割以上、次いで「雇用の場が少ない」が2割以上。前回調査と比較して「雇用の場」より「給与水準」に重点を置く傾向

13. 定住意識

- 「住み続けたい」が5割以上、「将来は市外に移りたい」が約2割
- 「住み続けたい」が低くなり、「将来は市外に移りたい」が高くなる傾向
- 「将来は市外に移りたい」は居住年数が短いほど高い傾向
- 「住み続けたい」理由は、前回調査と同様に「住み慣れて愛着がある」が約7割で突出
- 「将来は市外に移りたい」理由は、前回と同様に「自然環境が厳しい」が3割以上で最も高く、次いで「働く場に魅力がない」「買い物がしにくい」がそれぞれ1割以上